



小樽南ロータリークラブ会報



1960年創立
昭和35年2月5日

33

2019年3月29日発行
通巻 第2867号

●本日3月29日金のプログラム

◆スピーカー：石川 湧也 氏

●来週4月5日金のプログラム

◆スピーカー：本間 裕康 氏
(株)ル・レーヴ・ワイナリー 代表取締役

●再来週4月12日金のプログラム

◆スピーカー：八重樫 猛 氏

●2018-2019年度 IRテーマ



インスピレーションになる

2018-2019年度 RI第2510地区重点課題

- 組織を活性化しよう
- ロータリーの認識・理解を深めよう
- 地域社会との関わり合いを深めよう

- 例会場/ニュー三幸
- 例会日/毎週金曜日12時30分
- 事務局/〒047-0032 小樽市稲穂1-3-6 TEL.0134-33-3500
- Club Homepage URL <http://rid2510.org/otarusouth/>

●第32回例会報告(3月15日金) 斎藤 仁 会員 卓話「畔柳二美とわたし」

◆ロータリーソング【それこそロータリー】

◆ゲスト・ビジターの紹介

加藤 敦 氏 (東京城南RC)

◆会長報告【工藤会長】

加藤 敦 様(東京城南RC) 本日はようこそお出でいただきました 有難うございます。昨日で 小樽市議会も閉会し これからいよいよ統一地方選挙に入っ
てまいります。ロータリーはこれからも粛々とロータリーの活動を継続して行きたいと思ひます。

◆幹事報告【湊幹事】

- 次週3月22日金の例会は「休会」です。
- 4月12日金の例会場は、オーセントホテルでの「移動例会」となります。
- 入会予定者 拝田 昇 氏の入会式を4月5日金の例会にて執り行います。

◆出席委員会

平成31年3月15日(金)

会員総数 65名 本日の欠席者 17名
東、石川、小笠原、桂、斎田、佐藤(公)、芝原、鈴木、高木(成)、高橋、西谷、野村、堀内、前川、松尾、宮川、盛

平成31年3月1日(金)

会員総数 65名 出席摘要免除者数 9名

ホーム欠席者数 15名 メーキャップ数 2名
 純欠席者数 13名 確定出席率 78.70%
 メーキャップ
 3/10 濱本 (国際RC)
 3/22 村越、西谷、佐藤 (喜) (緑村会)

「緑村会」14名にて賑々しく開村!!



3/22 (金)
場所：すし田にて

まごころ箱

- 濱本会員** 千歳の地区ロータリー財団セミナーに出席してきました。昨日で無事(市議会)無事に終わりました! 43分間!! の報告は大変でした。4月のその日まで頑張ります!!!!
- 濱本会員** 小失敗! やってしまいました スミマセン!!
- 見延会員** 林、松尾 両司会者にのせられて! 喋り過ぎ! 湊会員の発言タイムを奪ってしまいました ごめんなさい!! 綺麗な花 有難うございました。
- 地山会員** 夫人誕生祝。有難うございます。 **地山会員** 結婚祝。有難うございます。
- 工藤会員** 本日の「卓話」 斎藤 仁次次期会長さんよろしくお願ひいたします。
- 紺谷会員** 3月9日 10日 千歳にて 会長エレクト研修に 小笠原次期会長代理で参加させていただきました。非常に勉強になり有難うございました。
- 斎藤会員** 「畔柳二美と私」卓話 有難うございました。
- 湊 会員** 今日の式次第を間違えて作成! 濱本副委員長まで「ニコニコ」を出すことになってしまい スイマセン!!

まごころ箱 入金集計額

(H30.7.6~H30.3.15)

3月15日分 27,000円

合計 **809,500円**

いつも有難うございます!

32号に集計に誤りがありました。正しくは合計 782,500円です。訂正してお詫ひ申し上げます。

畔柳二美と私



齋藤 仁会員

会員のみなさん、畔柳二美って知ってますか？ 旧狩太村（現ニセコ町）出身の女流作家です。実はこの方、私の大叔母に当たります、つまり、私の父の叔母、私の祖母の妹ということなのです。

代表作「姉妹（きょうだい）」をご紹介します。昭和 29 年度毎日出版文化賞を受賞したこの作品は、昭和 30 年、中原ひとみ、野添ひとみの主演で映画化されました。これは自伝的小説で、主役の妹俊子が二美本人、姉圭子が私の祖母をモデルに書かれています。最後に姉圭子が、佐山青年と結婚して話しは終わるのですが、この佐山青年が私の祖父になります。

大正末期から昭和の初めにかけての札幌やニセコの風景が面白おかしく、ユーモアたっぷりに描かれている秀作です。映画版は信州松本を舞台に、時代背景も昭和 30 年前後を描いていました。

この作品は、昭和 43 年 4 月から 1 年間 NHK 夕方の連続ドラマにもなり、お茶の間でもお馴染みになりました。その時の妹役は岡崎友紀、姉役は西尾三枝子、主題歌は伊東ゆかり。今でも活躍している近藤正臣も準主役で出演していました。NHK 版は大阪局制作だったので、舞台は姫路になっていました。



二美は明治 45 年 1 月 14 日、私の曾祖父が王子製紙千歳川第一水力発電所の主任技師だったことから、千歳市支笏湖そばの水明郷で遠藤家 5 人姉弟の 2 番目次女として生まれています。その後、父親が狩太村にあった尻別川第一水力発電所に転勤になった関係で、村の尋常小学校を卒業。札幌の北海高女（現札幌大谷高校）に進学します。

その後上京し、昭和 11 年畔柳貞蔵と結婚。悲しいかな戦争未亡人になった二美は、思いの丈を筆に込め、本格的な作家活動を開始しました。昭和 40 年に亡くなるまで 18 作品を世に送り出しています。

半世紀以上も経つと
こうなってしまう……



多くの作品が、テレビドラマや映画になり、雑誌、文芸誌にも連載を持ち作家としての地位を確立させていたようです。私の父は上京の折り、中野の畔柳宅に北海道土産として雪印バターを持って行くと、その何倍ものお小遣いを頂戴したと、にやけながら話してくれました。

現在、生まれ故郷千歳市の図書館に、畔柳二美展として作品、写真、小物資料等が常設展示されています。これは支笏湖ビジターセンターで特別展示されたものを、10 年前に図書館が譲り受けたと職員より説明されました。先日、恥ずかしながらはじめて訪問させていただきました。ガラス張りの立派な展示コーナーと私の知らなかった事も多々あり、大変勉強させていただきました。



我が家の愚息が道外に行ってから、私が二美にとって北海道に残る唯一の血縁者になってしまいました。二美は 1 月 14 日に生まれ、1 月 13 日に亡くなっています。53 歳の誕生日を前日に控えた日でした。だからって、なにも私の 6 歳の誕生日に亡くならなくていいと思うのですが……。